

第19回福島県フットサル選手権大会内イベント
「デフリンピック・デフサッカーが福島に来る！」のご紹介

読売新聞東京本社イノベーション本部

耳のきこえない・きこえにくい人のための国際的なスポーツの祭典「東京2025デフリンピック」の福島県内での認知拡大を目指して、郡山カップ大会期間中の2月9日(日)、「デフリンピック・デフサッカーが福島にやってくる！」イベントを開催します。サッカー元日本代表で、障がい者サッカー連盟会長の北澤豪さんやデフサッカー日本代表の監督や選手らを招き、郡山カップに参加する子どもたちに、デフサッカーとデフリンピックを知ってもらい、体験してもらう目的です。

読売新聞社はこのほど、「東京2025デフリンピック」のトータルサポートメンバーになりました。2023年3月から、サッカー日本代表のナショナルチームパートナーも務めていることから、デフリンピックと、デフサッカー双方の盛り上げに尽力します。

<イベント概要>

第19回福島県フットサル選手権大会内イベント「デフリンピック・デフサッカーが福島に来る！」

【日時】2025年2月9日(日) 13:50-14:20

※大会の試合展開次第で前後する可能性があります。ご容赦ください。

【会場】郡山市西部第二体育館(〒963-0215、福島県郡山市待池台1丁目7、024-959-4554)

【参加】郡山カップの出場者など(一部の参加選手の体験と観客席などからの見学)

【イベント主催】読売新聞東京本社

【協力】郡山カップ実行委員会

【登壇者】

障がい者サッカー連盟会長・北澤豪さん

デフフットサル男子日本代表監督兼デフサッカー女子日本代表コーチ、藤井健太さん

デフサッカー女子日本代表・デフフットサル女子日本代表監督・山本典城さん

デフサッカー男子日本代表FW・岡田拓也さん

デフサッカー・デフフットサル女子日本代表FW・岩淵亜依さん

【イベント詳細】

デフリンピック・デフサッカーが福島の J ヴィレッジで開催されることの告知

デフ選手を交えた、地元子どもたちとの耳栓をしてのウォーキングフットボール体験

【ウォーキングフットボールとは】 ※日本サッカー協会サイトから転載

ウォーキングフットボールとは、歩いて行うサッカーのことで、2011年7月にイングランドで行われた55歳以上の高齢者の健康のためのサッカーが原点と言われています。日本サッカー協会では、サッカー未経験者でも、運動が苦手でも、障害があっても、怖がらずにプレーできるように「非接触(ボールを取りにいかない)」という日本独自のルールを導入しています。

【ウォーキングフットボールのルール】

全員歩いてプレー、ヘディング禁止、接触禁止、ボールの高さはゴールの高さ(1.2m)、オフサイドなし

●フィールドプレイヤー (FP)

- ・相手が保持しているボールを取らない(前をふさぐだけ) ※日本独自のルール
- ・スライディング禁止
- ・タッチラインやコーナーからキックイン
- ・リスタートからの直接ゴールは禁止(相手に当たって入ってもノーゴール)
- ・リスタート時、相手は3m離れる
- ・FKは全て間接FK。PKは直接だがワンステップキック
- ・ゴールエリアに進入禁止

●ゴールキーパー (GK)

- ・相手がゴールラインからボールを出した場合はGKのアンダースローでスタート
- ・GKのスローは全てアンダースロー
- ・GKはゴールエリアを出てはいけない
- ・GKがバックパスを手で受けるのはOK

以上

お問い合わせ：福島民友新聞社
営業局 事業部 小林
TEL 024-523-1334